



10倍(150ppb)が検出された。なぜ水道管が腐食し、高濃度の鉛イオンが溶出したのか。フリント川の水質はデトロイト市が使っている五大湖(ヒューロン湖)の水質と異なり腐食を引き起こすサルファイド(硫化イオン類)やクロライド(塩素イオン類)が多く含まれ、市内の水道鋼管や鉛管が急激に腐食し高濃度の鉛イオンが水道水中に溶け出したものと推定され、関係者やバージニア工科大学の調べでも末端給水栓にて鉛イオン500ppb、さらに1万3200ppbを検出している。

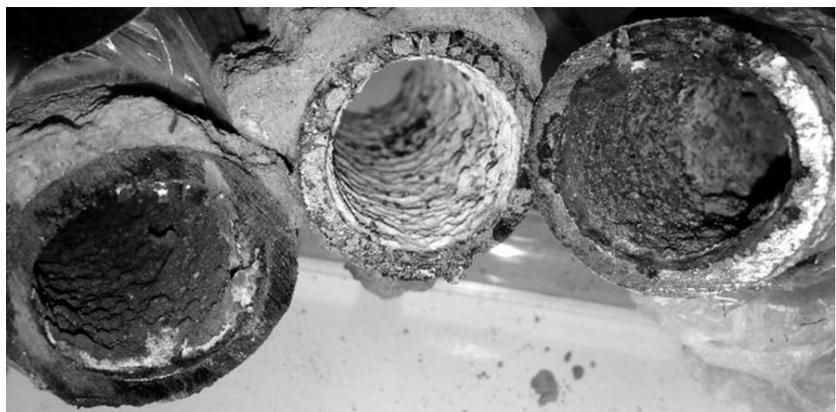
このような高レベルの鉛イオン入りの水道水を10万人(約3万3千世帯)の市民に約2年にわたり給水していたのである。市当局は鉛問題が発覚すると同時に、再びデトロイト市から水道水源を購入し、市民には安全性をPRしたが、大きく腐食した配管からは今も鉛イオンが溶出している。医師団は現在、妊婦や老人、子供に対し「今後ともフリント市の水道水を飲まないように嚴重に警告」している。

## 2. 鉛中毒の怖さ

成人では、皮膚炎や発汗、髪の毛が抜ける、腎臓障害などが顕著で、妊婦では流産などの健康被害が知られているが、乳幼児、子供たちにはさらに大きな健康被害をもたらされる。子供たちが鉛中毒になると脳細胞に直接作用し記憶障害やIQの低下、学習障害、健康障害さらに異常行動の増加となって現れ、これら鉛による健康被害は不可逆的で、一生にわたって決して治ることのない障害なのだ。小児科医師団は、フリント市の子供たち(6千人から1万2千人が対象)の鉛中毒の健康被害は「5



問題水源となったフリント川



シュナイダー知事の命令で調査した老朽化・腐食が進んでいる水道管

年から15年にわたる長期的な経過観察が必要だ」と語っている。

## 3. レジオネラ菌でも10人死亡

さらに調査を進めると、驚くべき事実も判明した。汚染されたフリント川に肺炎を起こすレジオネラ菌が含まれており、2015年に87件のレジオネラ肺炎の患者が報告され、そのうち10人が死亡している(市当局は、水源の切り替えとの因果関係は少ないと主張している)。

## 4. ミシガン州政府とフリント市の対策

ミシガン州のリック・シュナイダー知事は、この緊急事態を打開する為に連邦政府に31億ドル(約3720億円)の拠出を要求していた

が、オバマ大統領は、当初これは自然災害ではなく、人災であるとして拠出を拒否していたが、10万人が水道水を飲めない事態の解消や大統領選挙への影響を考え、連邦政府から5億ドル(約600億円)の拠出にサインし、安全な飲料水を確保する緊急事態宣言を発表した。

フリント市では水管理の責任者が辞任し、デトロイトの水源に切り替え、住民に対し「当市は連邦政府の飲料水基準を全面的に遵守しているが、水道水を飲むことは危険です」という公式見解を発表している。ミシガン州の検事総長は「フリント市の鉛中毒は、日常生活で必ず必要な水道の安全が確保できなかったという基本的な人権問題である」として徹底的な調

査をする意向を示している。またフリント市の対策について同市の出身の映画監督・マイケル・ムーア氏は「単なる水の危機ではなく、人種差別の危機および貧困による危機だ」と糾弾している。

## 5. 不可解な水道行政

現在、FBIやEPA、さらに連邦検事局、警察など関係者で、なぜこのような鉛汚染が引き起こされたか、鋭意捜査中であるが、主題は①だれがフリント川の腐食性を無視し、水道水源としたのか、②水処理装置の設置（現在は塩素消毒のみで、ろ過池などがない）の完成を2016年としながら、なぜ完成しない前に市民に給水したのか、③フリント川に水源を切り替えてから、市民からのクレームが多発したが、なぜ公開されなかったか、④消毒用の塩素の使い過ぎでトリハロメタン（発がん性物質）が検出されていたが、なぜ、その対策と公表がされなかったのか、⑤2015年10月時点で、市民からの水道水に対するクレーム件数が4万5千件寄せられていたが、紙カード記載で書類キャビネットに収納

され、電子化された率はわずか25%でしかなく、関係者共通の認識にはなっていなかった、その原因はなにか、⑥フリント市の管財人としてのミシガン州知事は役割（義務と責任）を果たしたのか、等、不可解な水道行政も新たな捜査対象になっている。もちろん市民から多くの訴訟が出されており、また行政の責任を問う刑事事件にはミシガン州の身内ではない「特別検査官」が任命されている。

## 6. 今後どうするのか

フリント市には全米から続々とボトルウォーターや鉛除去用のフィルターが救援物資として寄付されている。しかし州兵の派遣や連邦政府による資機材や医療チームの派遣も90日限りで活動が打ち切られる。10万人の安全な水道施設の構築には、まさに「焼け石に水」の状態である。調査チームによると老朽化した水道管の取り換えには、15億ドル（約1800億円）と10年の工期を必要とする。また子供たちの鉛の健康被害を救うためには1億ドル（120億円）、当面の水道水を飲めるようにする鉛除

去フィルター費用として2800万ドル（33.6億円）が必要になると試算している。小さな予算削減が招いた大きな代償に直面している。

## 7. 次期大統領候補者はどう考えているか

アイオワ州の党員集会・予備選挙が終わり、民主党や共和党の候補者はさらにヒートアップし激しい舌戦を繰り広げている。民主党候補のヒラリー・クリントン前国務長官、バニー・サンダース上院議員、また共和党のテッド・クルーズ上院議員、さらには不動産王のドナルド・トランプ候補者も、皆一様にミシガン州知事、フリント市の対応を「水道は命の水であり、近代国家の中心である米国で、こんな事件が起こるのは世界の恥であり、関係者は強く糾弾されるべきである」と述べているが、大統領候補者は誰一人として、「私が全米の都市に共通する老朽化した水道インフラを整備する」とは宣言していない。水道インフラの整備問題は票に直結しないものと見られ、まさに水に流されている。



全米から寄贈されたボトル水



2016年1月12日

2016年1月23日



2016年1月25日